

高効率で
お湯を沸かすから、
とっても経済的。

(HE-KU37GXCSにおいて)



独自の技術で、
年間給湯保温効率(JIS)^{※1}

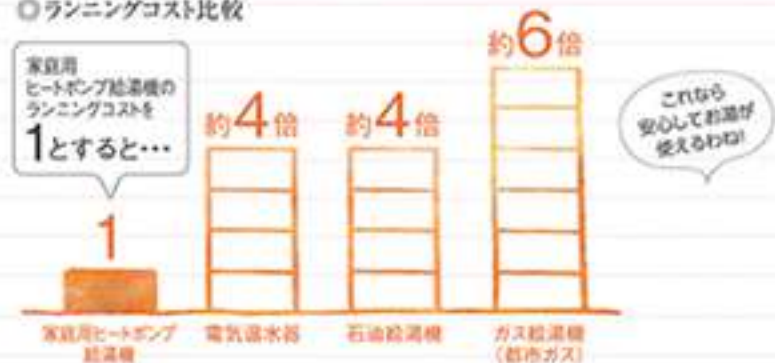
3.4
を実現。

(HE-KU37GXCSにおいて)

パナソニック独自の技術で、新省エネ基準(日本工業規格)対応の
年間給湯保温効率(JIS)^{※1}3.4を実現。
電気エネルギーをムダにしないよう、効率よくお湯を沸かして、
年間を通じたランニングコストを低減します。

見比べてください、
ランニングコストの違い。

○ランニングコスト比較



ランニングコストの算定基準(当社調べ) 下記条件にてランニングコストの算定を行っています。
○家庭用ヒートポンプ給湯機HE-KU37GXCS 電気温水器DH-37G50J ○運転モード「おまかせ節約」○外気
源、給水温度東京地区 ○給湯条件日本工業規格 JIS C 9200 2011の年間給湯保温モード数量 ○電気料金
東京電力(季節別時間帯別電灯)電圧上下(燃料調整係数)基本料金含まず 通電制約あり(全電化住宅向け)
を適用しています。○2014年5月 当社調べ ○ガス料金東京ガス 料金単価157.42円/m³(税込)で算出(基本
料金は給湯以外の用途で算出)○2014年5月 当社調べ ○石油料金単価1106円/L(税込)○2014年4月 当社調べ
上記は消費税率7%計算

経済性から電気代は、
お湯を沸かすの仕方によって異なります。
詳しくはWEBでご確認ください
http://www.panasonic.jp/boiler/2_3.html

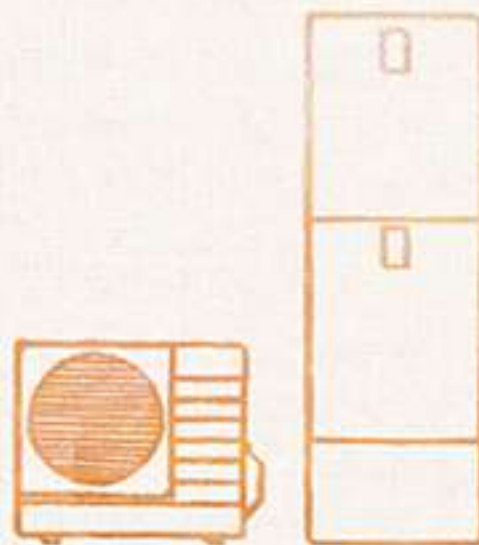
さらに、ガスと電気を使う
今の暮らしと比べて、
光熱費大幅ダウン!



ランニングコストの算出条件(当社調べ)
【住宅・住戸の電気エネルギー消費プロファイル(WP1.1)]にて以下の条件を設定
○住宅の規模(1世帯)29.81㎡ その他専ら51.34㎡ 新築家29.81㎡
○地域区分(地域別) ○標準消費電力279.89kWh/日(約6.42/12.37
[W/㎡/日]) または標準 1000kWh/年 ○電気料金(税込) ○電気
料金の計算方法 ○2014年(1/1) 適用 主たる居室(その他居室は自給排水専用
洗面所を使用している) ○給湯(電化住宅)電気ヒートポンプ給湯機 JIS効率
3.0 設計一次エネルギー消費量 75.80GJ/年 (ガス併用住宅)石油給湯機
JIS効率78.2% 設計一次エネルギー消費量 81.60GJ/年

※1:年間給湯保温効率(JIS)は、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、1年間を通してある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力あたりの給湯熱量および
給湯保温熱量を算出したものです。なお、給湯は基本モードである「おまかせ節約」にて測定した上で、実際に、地域別消費電力モードの設定や使用条件等により変わります。(湯上げモード「おまかせ」に設定した
場合やよりの湯が沸きやすくなるなど消費電力が増える場合があります)

エコキュートは、
大気熱を利用して
お湯を沸かすから
電気エネルギーだけの場合と比べて



電力消費量約1/3。

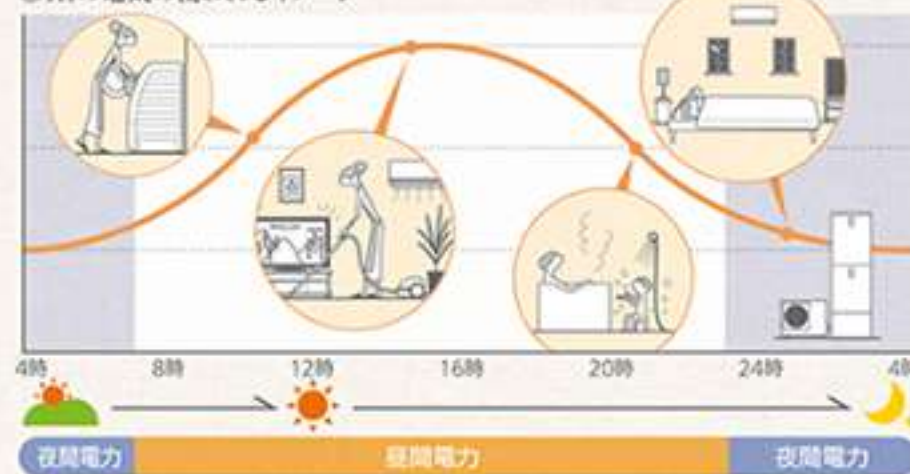
エコキュートはお湯を沸かす際、大気
熱と電気を併用。大気熱エネルギー
2に対して電気エネルギーは1の割合
しか使わないので、電気エネルギー
だけで沸かす場合と比べて電力消費
量を1/3に抑えられます。



しかも、割安な「夜間電力^{※1}」を使って、昼間の電気使用量を抑えられます。

平均的なご家庭で一日のうち、電気をもっとも多く使用するのは午後から夕食時にかけて。エコキュートはこの時間帯をさけ、
割安になる夜間にお湯を沸かすので給湯コストを大幅に削減できます。電力消費の節減にも貢献し、ピークシフトに対応します。

○日の電気の使われるイメージ



エコキュートは
夜間電力^{※1}を
有効活用してお湯を
つくります!

※2
ピークシフトに対応

夜間電力を使用して、電力需要の多い昼間時間帯からピークシフト。
主に割安な夜間電力を利用して沸かすので、電気需要の多い昼間時間帯からのピークシフトに
対応します。しかも、電気代がオトクになる時間帯別電灯契約で、給湯コストを大幅に削減できます。

※2:昼間の電力需要ピーク時の電力の消費を抑え、電力のある夜間に分散させること。

※1:凍結防止のために昼間に
運転することがあります。